



医療法人社団萌気会
 在宅療養支援診療所 (二日町)
 在宅療養支援有床診療所 (浦佐)

7

Vol 350
 2021/7.15

もえぎ

清水ヨネ さん書

七夕
 撮影地: 浦佐認定こども園
 撮影者: こども園職員



みんなの願い事が叶いますように



願い事、たくさん!!

千児観音美術展を終了して	2
高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展 ..	3
漫画 黒岩卓夫一代記	4
祝107歳	5
壁掛け作成 in地蔵の湯	6
ほっとかん リズム体操教室	7
萌気園大和通所介護 「地蔵の湯」	8

千児観音美術展を終了して

萌気会 会長・相談役
黒岩 卓夫

高屋肖哲の「千児観音」チャリティ美術展(運動)の前半が、6月4日から7月5日で無事終了しました。

まず関係者の皆さま、市民の皆さま、特に母と子の絆「へその緒」の粘土細工や“千児”になっていた小学校や園児の皆さん、ありがとうございました。

また萌気会、桐鈴会の職員と利用者の皆さまには、車椅子と共に参加していただきご苦労様でした。

そのうえ、この「千児観音」や「十種観音」を見ての感想をいただきました。その一端をここで紹介させていただきます。

職員:高屋肖哲の「千児観音」チャリティ美術展では、母と子の「つながり」をテーマとし、たくさんの作品が展示されていました。観音様とはあらゆる人々の悩みを受け止め救済するために生まれた仏様で、その想いがこの作品ひとつひとつに描かれたものだと感じました。「不幸な子に幸せな母はいない」「幸せな母に不幸な子はいない」この言葉を観て、自分が幸せでいなくてはいけないと改めて思いました。

利用者さん:「まず、子供の笑顔の数にビックリした。みんな上手だった。自分は一昨年と去年に病気をした時に夢に観音様が出てきて助けられたから、今日美術展で観音様を見れてありがたい気持ちになった。今日は行けて良かった。」

利用者さん:「感動した。なんも言えねえくらい感動した。子供を育てた苦労とか楽しかった事を思い出した。子供の大切さを考え直せて良かった。子供は大事だ。」

そして大まかな展覧会の結末・結果を報告します。ただし、千児観音関係に、途中から障がい者の作品も展示されました。美術館としてはオリンピックに因んだ「平成アスリート戦記」展がメインですので、併せてのデータになります。来場者数は1504人(目標1000人)でした。お陰さまで寄付金等は200万円位になりました。

そこで、チャリティ展の前半と申し上げたのは、「不幸な子に幸せな母はいない」「不幸な母に幸せな子はいない」を理念とした運動はこれからも続けます。

時あたかもコロナ禍により子と母の生活が困難になっていること、とりわけ在宅でがんばっている障がい児や経済の困窮の母と子たちへの支援を目指して、もうひと頑張りが後半です。そのシンボルが「みんなの冷蔵庫」の市内への設置です。これも後程具体的にPRさせていただきます。私たちは新潟県フードバンク連絡協議会や市の社会福祉協議会の御指導・御支援をいただき、活動を続けさせていただきます。

宜しく申し上げます。



…高屋肖哲の「千児観音」 チャリティー美術展…

2021年6月4日(金)～7月5日(月)
池田記念美術館

『地蔵の湯』



各施設の利用者さんも美術展に行って来ました



『曼陀羅華』



お知らせ

普光寺御住職 樺沢賢正さんの企画でチャリティーイベントを行います。

おすそわけの「みんなの冷蔵庫」気軽に行ってみよう！

日 時：8月21日(土) 10時～16時(予定)

場 所：浦佐普光寺境内

コミュニティフリッジ(冷蔵庫設置)を介して食材・日用品等配布及び

「子ども元気食堂」を提供します。(お問合せ：781-6155 法人事務局 上村、田中)



安心コラム ～私の脳梗塞～

6年前、脳梗塞に襲われた。山菜の王、木の芽(あけび)に生卵をかけての朝食中だった。左手に持っているご飯茶碗が滑り落ちた。妻に病院に行こうと急かされて、左足でズボンはき替えようとしたが上手くいかない。これも左下肢の麻痺にみえたようだ。巖志がすぐやってきて、拉致されるように車で斎藤記念病院へ。病院で降りた時は一人で歩いて診察室へ行った。自分では左手で茶碗落としたのは、生卵で滑っただけ。ズボンの履き替えは誰でも急かされれば上手くいかない。20分後には自分で歩けた。だから自分は脳梗塞ではない。今でもそう思いたいのだが、病院でのCTには異常が確認されたという。本当かなと今でも思っている自分がおかしくなる。そんな脳梗塞のドラマだった。

Dr. Kuroiwa



第10話
戦い終わり
そして夏休み

卓夫は6・15で倒れ入院したが2週間で退院した病院の外は夏の太陽に白々と広がる別世界だった

「いたいどうなったのか、安保闘争はどこへ行ったんだ?!

時計台を眺めても何事もなかった。すれ違ふ人は皆、実に平和の表情だった

三四郎の池を六めぐりつつ、これからどうしたらよいのか、その問いを繰り返しながらゆくり歩いた

田舎に帰ってみよう
北大路さん、結婚のことも相談しなければ

志賀高原の麓の町の診療所へ帰った母は倒れた時、東京まで来てくれた

後を追うように北大路さんがやってきた

手作りの水玉のワンピースでくる予定だった。寺造りの駅の頃

4人は堂に会し、父に紹介した

北大路様子さんです

直しく
お願いします

あたりは信州りんごが赤くなりはじめていた

次は名古屋の彼女の家族に会いに出かけた

父：北大路信勇 (会社員)
母：隆子 (主婦)
弟：康信 (中1)
弟：順信 (小3)

信勇は7人兄弟の6男
長兄と父は貴族院議員だった

隆子は庶民の娘
しかし専業主婦は不満のようだった

当時東大の学生寮で「ソ医研」と「社学同」の合宿があった

激動のあとをどうまとめ、今後どうするかを決めねばならなかった
卓夫はリーダー格になっていた
寮は赤い屋根で池を目前に、後方に妙高山と絶景で有名な場所にあった

気分満点!
イモリ池の畔で話し合いとなった妙高山の勇姿

実はソ医研メンバーがほとんど社学同の活動家に变身していたので都合はよかった

翌日は妙高登山
夜間雨だったので、すべって悪路だった

帰ってきた時は全身泥まみれでも闘争に抑圧された気持ちは、徐々にリフレッシュされ、伸び伸びと山気を吸い込むことができた

しかし、これが大変だ
運動を放り出すわけにはいかない
自分の生き方を改めて考えよう

大波がひいた後の静けさを、退院した卓夫はその変化について行けず、茫然とたたずんでいた。夏休みでもあったのだ。2人は結婚問題を意識して動きはじめた。さあどうなるか? うまくいくか? *「ソ医研」はソビエト医学研究会、「社学同」は社会主義学生同盟

祝 107歳

マイペースで気がいたら107才!

戸田ヨシさん、107才おめでとうございます。

ヨシさんの107才は二重のおめでたです。南魚沼市では最高齢になったのですね。

競争ではありませんが、今年3月最高齢のおばあちゃんが110才で亡くなりました。ここまで来るのは、若手のお二人の心のこもったケアのたまものとは言ってもありません。

私とヨシさんのお付き合いは30年になります。その若い頃は、仕事一筋でいつでも一人で草取りをしていました。その頃からでしょうか、ヨシさんはマイペースの生活者で、お昼ご飯はいつも一人で食べていました。またデイサービスにも行くのはイヤで、「先生が待っているから行きましょう」とあれこれ手を尽くして行くようになりました。すると私に「先生のところで御馳走になりまして・・・。」などとお礼を言われます。

しかし、ある時急に“発作”をおこして、完全寝たきりになり現在に至っています。脳梗塞でもありません。今でも生活の芯のことはわかっています。単純なアルツハイマーでもありません。ただ107才でもマイペースで人間の尊厳は守っている不思議なおばあちゃんに驚くばかりです。まだまだ生き抜いてほしいと思います。

黒岩 卓夫

おめでとう!



書籍紹介「楽園のキャンバス」 著者:原田 マハ

著者の経歴

1962(昭和37)年、東京都小平市生まれ。関西学院大学文学部日本文学科および早稲田大学第二文学部美術史科卒業。馬里呂美術館、伊藤忠商事を経て、森ビル森美術館設立準備室在籍時、ニューヨーク近代美術館に派遣され同館にて勤務。その後2005(平成17)年『カフーを待ちわびて』で日本ラブストーリー大賞を受賞しデビュー。2012年に発表したアートミステリ『楽園のキャンバス』は山本周五郎賞、R-40本屋さん大賞、TBS系「王様のブランチ」BOOKアワードなどを受賞、ベストセラーに。2016年『暗幕のゲルニカ』がR-40本屋さん大賞、2017年『リーチ先生』が新田次郎文学賞を受賞。その他の作品に『本日は、お日柄もよく』『ジヴェルニーの食卓』『デトロイト美術館の奇跡』『たゆたえども沈まず』『常設展示室』『風神雷神』などがある。



ピカソとかゴッホの名だったら、美術(アート)に興味なくても、少々聞き覚えがあるのではないだろうか?その代表作の絵と共に。だが、ルソーって?

深い緑(ビリジャン)が重なり合うジャングル。鳥や猛獣、蛇。ずんぐりした人物は、宙に浮いたように見える。砂漠にライオンと横たわる女性「眠るジブシー女」は、その昔、美術の教科書で見た不気味な絵だ。

1983年、アンリ・ルソーの研究者が2人、伝説のコレクターと言われる大富豪から呼び寄せられる。MoMA(ニューヨーク近代美術館)に収蔵されている「夢」とそっくりな絵の真贋を7日間で鑑定しろと言う。資料は、古い物語が一冊。

物語「夢を見た」の主人公は、アンリ・ルソー、彼の女神(ミューズ)であるヤドヴィカ、ルソーを見出したピカソ。1906年~1910年のパリ、ルソーの晩年を綴ったものだ。世間から全く評価されない中、愚直に自分の絵を描くことだけを追求した画家。取り巻く人々。美術の変革期を迎えた時代が垣間見える。

ふたつの時代を行き来しながら話は、進んでゆく。また、美術の名作を巡り、様々な思惑が主人公たちを絡め取るように張り巡らされ、最後までハラハラドキドキ。

作家本人もキュレーターだそう。画家や作品だけでなく、美術館の裏側、展覧会を開催する仕組みなども書き込まれていて、美術好きには、興味深い。

すぐにでも「夢」を見に行き、左手をじっくり観察したくなる。

本当に「夢を見た」は、現存するのかもしれない。作家渾身のアートミステリー、そしてラブストーリーである。シリーズではないが、ピカソと「泣く女」ドラ・マールを描いた「暗幕のゲルニカ」、俵屋宗達「風神、雷神」など、絵画に纏わる著書が多数ある。好きな絵から手に取るのもお勧め。

浦佐栄養調理室 林 玲子



壁掛け作成 in 地蔵の湯



地蔵の湯では、裁縫ができる利用者さんと一緒に壁掛け作りを行っています。要らなくなった布を用いて作った色々な大きさの花びらを、一つずつ木の背景の周りに縫い付けて飾り付けをしています。

どんな感じになるのか、仕上がりがとても楽しみです。



桐生ココさんが 卒業した話 #4

こんにちは！萌気チャンネルのモロハシです。

7月1日ホロライブ(女性VTuberグループ)所属4期生の桐生ココさんが卒業しました。卒業ライブが開催され、同接48万人以上、スパチャ1800万円以上、Twitter世界トレンド1位&2位というまさに伝説のドラゴンになりました。はい。ここまで何を言っているのかわからなかった人が多いと思います。結局何が言いたいのかというところ…今を全力で楽しもう！！！！ってこと！

プロジェクトリーダー 諸橋



南魚沼市季節の花々(6月~7月)





ほっとかん リズム体操教室

ほっとかん 南魚沼市浦佐 330-7(旧浦佐診療所)

毎週木曜日 10:00~11:00

7月 1, 8, 15, 29 日
8月 5, 19, 26 日

- ・1回500円です
- ・見学やお試しはいつでもできます。お気軽にどうぞ。
- ・飲み物、汗拭きタオル、上履き運動靴をお持ちください。
- ・マスクの着用、検温、手指消毒にご協力ください。

トレーナー 高橋 みゆき (HAPPYエアロビクス南魚沼) 090-2230-8826

こんにちは♪ リズム体操教室の高橋みゆきです。

リズム体操は、毎週木曜日、10時から11時の1時間の教室です。

軽快な音楽に合わせて30分、足踏みをしたり腕を上げたり、軽い筋トレ、脳トレをします。

そのあとはマットを敷いて30分、腰や太もものストレッチをしたり、ゆったりした音楽の中、仰向けで体を緩めます。

音楽に合わせて、と聞くと結構ハードな運動かと心配される方もいますが、実際にはそんなことはありません。ご自分の体力に合わせて、マイペースで楽しくできる運動です。

年齢を重ねると落ちていく「筋力」と「柔軟性」は、日ごろの運動で保ったり、さらに付けていくこともできます。

どんな運動も続けないとなかなか成果は出ませんが、楽しいと続けやすいです。

リズム体操、ぜひ一度体験してみてくださいね♪
みなさんのご参加、お待ちしております!

〈ご参加の皆さんからの声〉

『最初はできなかった動きもだんだん出来るようになって嬉しい』

『体中が伸びるので、とっても気持ちがいい』

『家で一人でやってみてもつまらないしすぐ止めるけど、みんなでやるから楽しい』

『指先まで動かすのがありがたい・体だけでなく気持ちもスッキリする』

『何もしないと体が動かなくなるのではと不安だけど、ここへ来て動けるのが嬉しい』



萌気園大和通所介護 「地蔵の湯」



利用者 山田 フミさん

いつも元気いっぱいな山田さん。

地蔵の湯ではマッサージを受けられたり、パズル等の手作業に一生懸命に取り組まれ、ご自分のペースでゆっくりと過ごされています。

山田さんは地蔵の湯の温泉に入ることが一番の楽しみだそうです。お風呂に入った後のマッサージも楽しみにされていて、お風呂に入った後「マッサージは空いてるかな?」と嬉しそうにあんまさんのところへ向かわれ、マッサージが終わると、「あー良かった!」と笑顔で帰って来られます。

人と話すことも大好きとのことで、いろいろなお話をしてくださいます。これからもたくさんのお話を聞かせてください!楽しみにしています。

萌気園二日町診療所 「曼陀羅華」



曼陀羅華では1日40名の方から利用していただいています。主に午前中は入浴と個別リハビリ。午後はレクリエーションと集団体操があり、二手に分かれます。この集団体操を紹介したいと思います。

定員8名で行います。そのメンバーは

◎介護計画書のプランに入っている方

◎リハビリ専門職からの指示のある方

◎運動意欲のある方 となっております。

その内容は、棒を使い全て座って行います。上半身を中心としたストレッチや、棒を投げる、受け取る、回転させる等のバランス感覚や、反射神経、集中力などの身体機能の維持向上のための運動をしています。もう一つ、コグニサイズと言い、頭を使いながら運動をします。認知症予防運動です。軽い運動、足踏みをしながらか頭で考える、しりとり、簡単な計算、季節の野菜の名前の言い合いなどをします。思わず間違えて笑い、試行錯誤しながら楽しんでる様子がみられます。

みなさんの感想です。

『たくさん体操ができてありがたく、家でもやっています。』

『週二回の体操が楽しみです。』

『家ではなかなか体操できないから、ありがたいです。』

『よく指導してもらって助かっています。』

みなさんも、身近にある新聞紙を丸めて棒を作り、ぜひやってみませんか?

寄付のお願い

フェイスタオル、バスタオルの寄付をお願いします。
萌気会介護事業部 777-5522 担当: 栗原



編集後記

しょうたき萌気たもんの郷 山本 明子

梅雨空が続き蒸し暑く感じられることが多い季節となりました。

昔、彦星と織り姫という男女の星が、天の川をはさんで向かい合って、この二つの星が1年に1度この日に会えるという言い伝えから始まったそうです。現在はコロナ禍の影響により、行きたい所へ行けず会いたい人に会えないといった制限された状況が続い

ていて気持ちが滅入ってしまいます。やはり夏は定番のビールに枝豆、そうめん、冷やし中華といった涼味を感じられる美味しいものを、みんなで一緒に楽しくいただきたいですね。

ワクチン接種が少しずつ進んでいます。1日も早いコロナ禍終息の願いを込めた短冊を飾りたいと思います。どうか願いが叶いますように。